

環境保全への取り組み

■環境配慮への基本方針

京王グループでは、「京王グループ理念」に「環境にやさしく」と掲げ、環境にやさしい企業を目指し、さまざまな環境活動を行っています。また、環境保全への配慮はグループ共通の課題であることから、京王電鉄は2004（平16）年12月9日に「京王グループ環境基本方針」を制定しました。

京王グループ環境基本方針

私たちは、「環境にやさしく」というグループ理念に基づき、環境問題を地球規模で考え、持続的発展が可能な社会の実現を目指して、環境保全に配慮した事業活動を行います。

1. 地球温暖化防止のため、エネルギーの効率利用に努めます。
2. 循環型社会実現のため、廃棄物の削減、リサイクルおよび適正処理を図るとともに汚染の予防に努めます。
3. 環境に関する法令、条例、協定などを遵守します。
4. 地域社会との調和を目指し、騒音、振動の抑制ならびに緑化活動の推進に努めます。
5. より良い環境の実現に向けて、地域や社会の環境保全活動に積極的に参加します。
6. 従業員一人ひとりの環境意識向上を図るため、啓蒙・教育活動を実施します。
7. これらの環境保全活動を推進するため、鉄道をはじめとするすべてのグループ会社の事業活動において環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に取り組みます。

2004年12月9日

京王電鉄株式会社

取締役社長 加藤 真

環境保全への取り組み

■環境保全への取り組み

当社では、環境に優しい交通機関を目指し、さまざまな取り組みを行っており、2000（平12）年10月には、当社のリサイクル活動への取り組みが評価され、「平成12年度リサイクル推進功労者等表彰」（リサイクル推進協議会実施）において運輸大臣賞を受賞しました。

●資源の再利用

◎きっぷのリサイクル

1999（平11）年3月から、各駅で回収された使用済みきっぷ（普通券・回数券）をリサイクルし、全駅のトイレトーパーとして使用しています。

◎パスネットカードのリサイクル

2000（平12）年1月から、日本で初めて、使用済み定期券を再利用した“エコベンチ”を設置しています。また、現在導入している新型ベンチやホーム待合室内はパスネットカードをリサイクルしたベンチを設置しています。



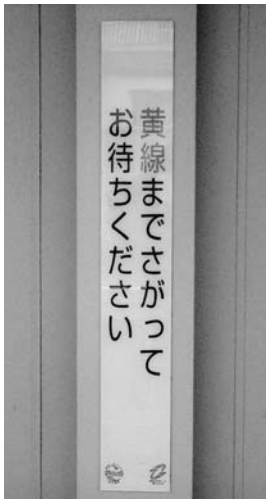
エコベンチ

◎ペットボトルのリサイクル

2002（平14）年1月から、駅売店などで回収された飲料用ペットボトルをリサイクルし、全駅の案内板として使用しています。

◎車両・部品洗浄水の節水

若葉台工場では車両や部品の洗浄等に用いる水の使用量を削減するため、「処理水再利用装置」を導入しています。この装置により使用済みの水の汚れを取り除くことで、洗浄水などに再使用しています。現在、洗浄に用いる水の約40%は本装置により処理されたものです。



案内板



京王線9000系車両



高幡不動産車両基地の太陽光発電システム



線路わきの環境保全としての緑化

●省エネルギー化

◎車両の省エネルギー化

京王線9000系・8000系、井の頭線1000系車両はVVVFインバータ制御装置を搭載しており、省エネルギー化を図っています。また、京王線7000系車両の制御装置を順次VVVFインバータに更新し、既存車両についても省エネルギー化を図っています。

●太陽光発電システム

2001（平13）年2月から、明大前駅、若葉台駅、高幡不動産車両基地の3施設で太陽光発電システムを導入し、照明や自動券売機などの業務用電力の一部として活用しています。

●周辺環境への配慮

◎騒音・振動対策

車輪の振動を自動的に検出するセンサーを京王線・井の頭線に各1箇所設置し、騒音・振動を早期に発見・改善しています。また、レールを溶接して継目箇所を少なくしているほか、鉄橋に防音材などを使用することで、騒音・振動の低減に努めています。

◎線路わきの環境保全

1991（平3）年度から、線路わきの雑草には除草剤を使わず、人力で草刈りを行っています。また、降雨による斜面の崩壊を防ぐとともに、お客さまに沿線風景を楽しんでいただくことを目的として、井の頭線を中心に線路わきの斜面にアジサイ・ツツジ・サザンカなどを植栽し、緑化を進めています。当社のこの取り組みは、2001（平13）年2月に第7回杉並「まち」デザイン賞を受賞しました。

環境保全への取り組み

■循環型リサイクルの推進



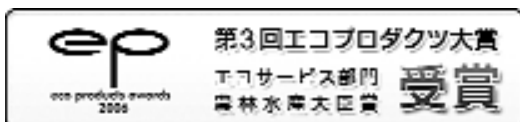
環境リサイクル事業のシンボルマーク

環境ベンチャー企業の(株)アグリガイアシステムと提携し、環境リサイクル（食品廃棄物リサイクル）事業に取り組んでいます。

●食品リサイクルパッケージシステム

「食品リサイクルパッケージシステム」とは、グループ各社で実績のある食品リサイクル法への対応や食品リサイクル処理についてトータルコーディネートした循環型リサイクルシステムを、グループ以外の企業に対して提案、構築するものです。

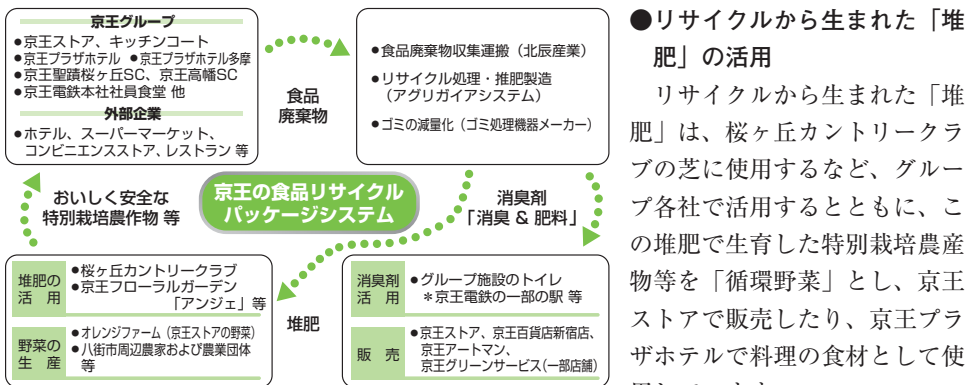
当社のこの取り組みは、2006（平18）年12月に「第3回エコプロダクツ大賞」エコサービス部門「農林水産大臣賞」を受賞しました。



バイオ消臭剤「消臭&肥料」

●バイオ消臭剤「消臭&肥料」

京王グループ各社などから排出された食品廃棄物のリサイクルから生まれた、バイオ消臭剤「消臭&肥料」は、トイレや生ゴミの主要悪臭成分（硫化水素系）やたばこの主要悪臭成分（アセトアルデヒド）を吸着し不快感を緩和させる無臭の脱臭剤で、消臭効果が無くなった後（約2ヵ月の使用後）は有機肥料として土に混ぜ、野菜などを育てることができる完全循環型のリサイクル商品です。



●リサイクルから生まれた「堆肥」の活用

リサイクルから生まれた「堆肥」は、桜ヶ丘カントリークラブの芝に使用するなど、グループ各社で活用するとともに、この堆肥で生育した特別栽培農産物等を「循環野菜」とし、京王ストアで販売したり、京王プラザホテルで料理の食材として使用しています。